



宇宙の子

発行
三隅小学校
浜田市三隅町
古市場450
32-4040

未来に平和を

学校長 森田 清

五月三十一日(月)に、昭和二十年八月六日、広島市で被爆されたお二人から、被爆体験談を聴きました。

「水、水と水を求めてさまよった話」「やけどのため腕の皮膚がただれ、その皮膚を腕に巻いた話」「自分の耳からウジ虫がわいてピンセットでとつてもらった話」「腕の中で五才の女の子が亡くなった話」など、二人の語り部さんは、涙ながらに思い出したくない話、辛い話を未来を担う子どもたちに伝えなくてはという思いで、声を詰まらせながら一生懸命話して下さいました。原爆資料館に行ったら、「目を背けないで、逃げないで、真つ直ぐ向かって欲しい」と真剣に語られました。

戦後六十五年経ちます。被爆体験を話して下さる方も少なくなりました。六年生の子どもたちにとっては、衝撃的な話でしたが、平和の大切さを学ぶ上で貴重な学習をすることができました。

(六年生の感想)

〇ろう人形は、語り部さんの言われたとおり、皮膚がとけていました。とけた人の気持ちがあつたような気がしました。

悲しくてつらくて怖い以上の気持ちだったと思います。

〇生きている人の皮膚に「ウジ虫」が入ったと聞いて、気持ち悪かったし、すごく可哀想でした。妹さんに助けてもらい、水を飲んで、その水がとつてもとつてもおいしかったと聞いて、感動しました。

(一部抜粋)

語り部さんのお話

町内の六年生が聞きました



平和公園にて

ガイドさんから

お話を聞きました



みんなで折った千羽鶴を供えました



命の誕生

校舎の片隅に鳩が卵を産み、雛が二羽かえりました。ただ今、子育ての真つ最中です。無事に育つことを祈り、静かに見守っています。

まだ目が見えないようです



親が餌をやっています

遠足に出かけて

六年生が修学旅行に出かけた六月三日に、一年生から五年生まで、岡見の火力発電所に遠足で出かけました。当日は雨の心配はまったくいりませんでした。逆さ暑さ対策が必要になるくらい天候でした。発電所までの行き帰りや発電所内の広場での活動、お弁当など縦割り班で過ごしました。この日は五年生が最高学年として下の学年の面倒をみました。暑さでバテそうな低学年に声をかけて上手に歩かせたり、オリエンテーリングでみんなをリードしながらポイントを見つけたりするなど最高学年の仕事を手伝っていました。また、総務委員会の児童は、オリエンテーリングの事前準備に熱心に取り組み、当日はだれもが楽しむことができました。このような上学年の姿や行動が下の学年のよい手本になっていくと思います。

ポイントのカードがどこにあるかみんなが探しています。



途中に何か所か関所があり、課題に挑戦します。



オリエンテーションの後、縦割り班で遊ぶ姿が見られました。



児童に人気があつたのはオロチの遊具です。



胴体は児童ですし詰めです。



水泳学習が始まりました

今年もアクアみすみで水泳学習をしています。各学年二時間ずつの五回で、合計十時間ほど学習します。恵まれた施設を使って学習でき、子どもたちは「顔がつけられるようになった」「浮くことができた」「息継ぎができた」「二十五m泳げた」など自分の伸びを感じうれいようです。

地域で学ぶ

五年 ヒラメの放流

五年生は、社会科で日本の水産業について学習をしますが、それに合わせヒラメの放流体験を行いました。六月八日（火）に岡見の須津漁港に出かけ、ヒラメの稚魚を育てているところを見たり、栽培漁業についての説明をうかがったりしました。田ノ浦海岸に移動した後、ヒラメの稚魚を実際に放流しました。自然界では一匹のヒラメが産卵で二百万個の卵を産んでいると聞いて、この中で成長していくのはすごい倍率だと思いましたが、稚魚まで育てたヒラメが少しでも多く成長していけば、より豊かな海になるのかと思いました。



須津漁港での説明



田ノ浦海岸での放流

二年 さくら・わかば

ミュージアムスクールにて

二年生とさくら・わかば学級の児童は、六月十一日（金）にこども美術館に出かけました。午前中は、美術館に展示してある絵を鑑賞し、午後は作品作りをしました。作品作りは普段教室では作れ

ないようなダイナミックな作品を作りました。子ども達も自分の思いをしっかりと発散させたようで、楽しい経験ができました。

また、二年生は五月二十六日には、白砂公民館に出かけ、川の生き物についてアクアスの方からお話を聞いたり実際に生き物を捕ったりして自然にふれあいました。

ハシカチに色をつけています
みんなの作品を一つ一つにしました



ホームページを更新中

昨年までは、三隅小学校のホームページは月行事程度で、あまり更新をしておりませんでした。今年度は、地域や保護者の皆様に、より子どもたちの様子をお伝えしようと、ホームページの更新を進んで行うことにしております。この「宇宙の子」も、カラーバージョンでご覧いただけますし、学校行事での児童の様子もお知らせいたします。ホームページのアドレスは

<http://www.hamada.ed.jp/misumi-e/>

です。または「浜田市立三隅小学校」で検

索をかけていただき、「浜田市立三隅小学校ー浜田市小中学校公式サイト」からお入りください。

気になる話し方

「先生、スリッパ」

月曜日の朝など上履きを忘れた児童の何人かは、私（教頭）のところに来てきて、「こう言います。言いたいことは、「先生、今日、上履きを忘れたので、スリッパを貸してください。」ということなのですが、言い直させないときちんと話せません。スリッパだけでなくほかの場面でも、単語だけを述べて終わってしまうことがあります。これでは、正確な用件がうまく伝わりません。どうして、そのような状況が起きるのでしょうか。それは、言いたいことを、状況から判断して、きちんと言ってなくても、大人が先回りをして手を差しのべているからではないでしょうか。大人の場合は場の様子からどんな話し方をすればいいかわかりませんが、子どもの場合はそれがわかりません。以前話した話し方で通じれば、今回も同じように話すことになります。

学校では、児童の表現力を育てようとして打っています。普段のこのような話し方も段々直していきたいと思っています。自分の思いや用件をうまく相手に伝えられる力を育てるためにも、ご家庭でも気をつけてください。

お世話になりました

六月十二日（土）、森下誠治さん・石内俊夫さん・桑原光男さん・長崎好江さんの四名の方に来ていただき昇降口からメディアライン周辺の草刈をしていただきました。学校でも草刈をしています。この時期草の伸びるスピードに追いつけない状態でしたので大変助かりました。ありがとうございました。

学校の鉢植えのアジサイも満開をむかえています。また、学校で飼っているメダカも卵からかえりました。田んぼの稲もずいぶん伸びてきて、命の輝きを感じます。しかし、またこの時期は大雨に注意しないとイケない時期でもあります。三隅町は水害の恐ろしさを体験しているだけに、子どもたちにもそのことを知らせていかなければいけないと思っています。



7月の主な予定

- 1日・2日 地区懇談会
- 5日 人権集会
- 6日 交流学習（5年）
- 7日 防犯教室（1年・2年）
さくら・わかば
- 9日 参観日・救急法講習会
- 12日 校外班会
- 14日 海遊び（1年）
合同学習（さくら・わかば）
- 16日 給食終了
- 20日 終業式
- 21日～23日・26日 家庭訪問
- 22日・23日 水泳教室